

HopStepJump

<http://toyono-jinjikyō.com/>

1

平成 29 年度 (2017 年度)

初任者研修

新規採用者研修 開講にあたって

平成 29 年度 (2017 年度)、初任者研修・新規採用者研修に 126 名の先生方をお迎えしました。

豊能地区 (豊中市、池田市、箕面市、能勢町、豊能町) は、政令指定都市を除くと、全国で初めて人事権の移譲を受けた市町です。豊能地区の子どもたちのために、皆さんとこの研修を通じて共に学び合えることを嬉しく思います。

さて、この初任研通信は、豊能地区で行う共通研修のアンケートをもとに作成します。研修の中で、何を考えどう感じたのか、一人ひとりが研修を振り返るとともに、受講者の皆さんがつながり合うきっかけになればと願っています。つまり、私たちの学級通信です。また、研修を受講していない方にも、研修の内容を知っていただき、市町実施研修や学校での研修が有機的につながるきっかけになれば幸いです。

☆先輩からのメッセージ

昨年度、初任者研修を受けていた先輩からのメッセージです。1 年間の学びというのは本当に大きいと感じます。日々、子どもたちと向き合い、自分と向き合いながら過ごしてきた先輩たちからの実感のこもったエールです。



合格おめでとうございます。念願の教員としてのスタートですね。きっと期待と不安でいっぱいでしょう。

私は、皆さんのご両親と同年代です。教員である父の後ろ姿を見て、ずっと教員になるべくして進んでいましたが、結果的には大学卒業後に教員の道に進みませんでした。3 人の我が子が小学校に通う頃に、若い頃の志が甦り、非常勤講師を経て講師として 10 年ほどの年月を過ごしました。そして、今年度、初任者として気持ち新たにスタートしました。同期である若い先生方に混ざり、研修を重ねて参りました。この 1 年間を終えるに当たり感じていることは、採用試験にチャレンジして良かったということです。

私は、今年度、1 年生を担当しました。1 年生は素直で可愛く、担任の言う事が 100 パーセントです。どんなことにも、目をキラキラと輝かせ全身で自分を表現してきます。それだけに、こちら心して接し指導していかなければいけません。それは、1 年生に限らず言えることだと思います。忙しい日々の中で、子どもの頑張る姿、なにげない一言が、疲れた心をも癒してくれます。【小学校】

豊能地区での研修はすごく有意義なものが多かったです。いろんな分野の専門の方のお話を聞くことができ、自分自身の引き出しが多くなりました。特に 2 つの点で研修があつてよかったなと感じました。

1 つ目に、初任者代表の研究授業があつたことです。同じ初任者としていったいどんな授業をしているのかを知ることができたとともに、同じ初任者同士で研究協議できたことです。経験数があまり変わらない同士で話をすることによって、経験からではなく、このようにしたらという意見として、みんなで引き出しの幅を増やすことができました。

2 つ目に、1 月の研修でした。「中学校でのいじめの事案」について、解決するにはどうすればいいのかについて班でチームになって、話し合ったことが心に残っています。いじめや小さな問題は、ひとりで抱え込まずに学校というチームで解決していかなければならないと言われたことが、まさにその通りだなと思いました。4 月の初め、困ったことが起きたときに一人で悩んでいました。しかし、学年の先生や生徒指導の先生、管理職の先生がしっかりと話を聞いてくれたことで解決することができました。このことから、協力することの大切さを学ぶことができました。【小学校】

授業の際は暗い顔をしている生徒が、体育大会の準備のときからとても良い表情を見せてくれました。そして体育大会当日、種目を終えゴールした瞬間の顔は誰よりも光り輝いていました。私はあの姿を一生忘れることはありません。あの瞬間、「子供達のこんな姿が見られる仕事はなかなか無いし、教師をやっている本当によかった」と心から思いました。学校現場は生徒だけではなく、教師自身も成長できる場です。そのためこれからも新しいことを吸収し、それを周囲に還元していこうとする姿勢を持ち続けていってください。皆さんとどこかで子供達と一緒に関わる日を楽しみにしています。【中学校】



子どもの見本になるという責任を感じてください。言葉遣い、字、服装、教具の扱い方、すべて見られています。(私もよく見られていて、ドキッとしました。【小学校】)

初任者として1年間過ごしてきて言えることは、「常に自分を見つめなおすこと」「一から学ぶ姿勢を持つこと」が大切だということです。授業でも、学級でも、教員同士のかかわりの中でも、生徒や教員に問い詰めたりする前に、自分の行動を振り返り、何がダメだったのか、どうすればよいのかを自問自答し続けることが大切だと思います。実際、この一年間は、生徒が寝続けたら、話を聞いていなかったり、「わからん」という言葉を聞いたりすることが何度もありました。その度、授業がうまくいかない原因を自分の中に求め、改善に努めてきました。その結果として、もちろん完璧ではありませんが、昨年よりは、よい授業になったという確信を持てるようになりました。

また、6年間の講師経験で自分の中に自信のある部分もありましたが、初任者研修でも、学年会や職員会議でも、そのような自信は取っ払って、学んできました。知っていることでも、新たな視点から学ぶことで、それを自分の財産とすることができました。この姿勢を忘れず、来年度も励んでいきたいと思えます。学校での業務の中、研修が多く大変ですが、同僚として切磋琢磨して頑張りましょう。【中学校】



初任者のみなさん、合格おめでとうございます。新しい学校に赴任してまだ数日足らずだと思いますが、すでに覚えなければいけないことや、わからないことがたくさんあって、心も身体も疲れていると思います。

1年前の開講式で私は、“これから1年長いな…”とぼんやり考えながらも、自然と“頑張ろう!”という気持ちになってやる気に満ちていたのを今でも覚えています。あれから1年立ちますが、1日、1週間、1か月を必死で乗り越え、あつという間に終わった気がします。判断に迷うときや、もう限界だな…と思う瞬間は何度かありましたが、そんな時は絶対ためこまないで時間を見つけて頼れる先生、話しやすい先生、ベテランの先生、同期の先生などに話しかけたり相談をしたり、小出しに吐きだすようにしていました。

学校内で話しにくいことであれば、大学の友達、家族など、自分が話したいと思った時にどんどん話すようにしています。自分一人でため込んで考えるよりも、他の人と話をする事で初めて見えてくることもあります。また、周りの先生は自分が思っている以上に、自分のことを気にかけてくれているんだなと感じた1年でした。

これから2年目になり、年齢も立場も一番下ではなくなります。昨年度以上にしっかりしていけないと感じつつ、甘えられるときはどんどん周りに甘えていこうと思っています。初任者のみなさんも仕事が辛くなる時がこれから何度かあると思います。そんな時はためこまずに、積極的に周りにSOSを出して甘えてください。【養護教諭】

新規採用の皆さん、採用おめでとうございます。

はじめは学校事務の仕事のイメージがわからず、不安な気持ちでいっぱいだと思います。学校ではほとんどが1人か2人配置ですが、事務職員にしかできない仕事がたくさんあり、経験が浅くてもどんどん自分の意見が反映されます。特に学校事務職員は、予算運営という学校運営における重要な役割があります。私はこういった仕事をする上で大事なのはコミュニケーションだと1年を通して感じました。たとえば、予算では先生方や市の職員とこまめに調整を行います。転入学では保護者の方と話します。管理職をはじめとする学校の先生方、保護者の方、地域の方、府・市の職員の方々などあらゆる人の話に耳を傾け、よく対話し、信頼関係を築いていってください。

また、共同実施や研修などで他校の事務職員や他市の事務職員と出会う機会が多く、意見交換もたくさんできるので、たくさんの仲間ができます。だから、どんな学校にしたいか、どんな事務職員になりたいかを想像して、何事にも興味を持ち、様々な人と対話し、果敢に挑戦していってください。【事務職員】

☆初任者研修の受講にあたって

豊能地区教職員人事協議会は、「子どもとともに学び続ける教職員」をめざす教職員像としています。研修で身につく力は、受講者の「研修への前向きさ」でその幅と深さが異なるといわれています。そこで研修の受講にあたっては、以下の点に気をつけてください。

- ① 「参加する」「受講する」といった受動的な態度ではなく、自ら積極的に「求めていく」心構えで臨む。
- ② 欠席・遅刻の場合は学校を通して、所属市教育センター（豊能町・能勢町は教育委員会）へ連絡する。
- ③ 1年間心身ともに健康で過ごせるよう、体調管理に気をつける。
- ④ 研修会場へは、公共交通機関を利用して参加する。